

[▶ ホーム](#)
**学会案内**

- [▶ 概要](#)
- [▶ 定款等](#)
- [▶ 組織・役員](#)
- [▶ 学会からのメッセージ](#)
- [▶ 事務局・連絡先](#)

**市民の皆様へ**

- [▶ 医療における放射線被曝](#)
- [▶ 放射線科の紹介](#)
- [▶ 放射線・原子力関連情報](#)
- [▶ 放射線医学の歴史](#)
- [▶ レントゲンの日](#)

**医学生・若手医師へ**

- [▶ 若手医師・学生の皆様へ](#)

**平成13年度第3回理事会議事録**

2006-6-1 14:40:00

日時:平成13年 5 月22日(火曜日)15:00~17:30  
 場所:学士会館赤門分館 3 号室  
 出席:山田龍作会長、隈崎達夫総務理事、阿部公彦、石垣武男、板井悠二、  
 遠藤啓吾、高橋睦正、  
 平木祥夫、平松慶博、増田康治、山下 孝各理事、小西淳二監事、竹田 寛  
 第37回秋季臨床大会長  
 欠席:打田日出夫、酒井邦夫各理事、利波紀久監事

**議題**

1. 前回議事録の承認
2. 第60回総会評議員会議事録の承認
3. 第61回日本医学放射線学会総会について
4. 第37回日本医学放射線学会秋季臨床大会について
5. 定款の変更について
6. JMCPについて
7. 専門医更新有効期間変更について
8. 日医放生物部会報告
9. 日本医学物理学会(医療用線量標準事業の件)
10. パンフレットの作成(広報委員会)
11. 「施設画像評価」に関する広報の件
12. デジタルマンモグラフィ評価基準の作成の件
13. オムツの取り扱いについて
14. 会告の承認

6月号 第61回日本医学放射線学会総会案内(II)

第15回医学物理士認定試験について

医療用線量標準センターからのお知らせ

第26回日医放医療用標準線量研究会案内

新規学術集会認定申請単位決定等のお知らせ

15. 用語集の取り扱いについて
16. 事務局の充実について
17. ウィルス感染とサーバー管理について
18. その他 受託研究管理規定の承認

**報告事項**

1. 第60回日本医学放射線学会総会について
2. 委員会報告
  - 乳房撮影委員会
  - 広報委員会
  - 将来計画委員会
  - 教育委員会
  - 医療事故防止委員会
  - 倫理委員会

**▶ 入会案内**
**▶ 会員のみなさまへ**

- [▶ What's New](#)
- [▶ 会員向けの情報](#)
- [▶ 学会からの情報・ガイドライン](#)
- [▶ 安全に関する情報](#)
- [▶ 会報・会告](#)
- [▶ 学会誌・出版物](#)
- [▶ 学術大会\(春・秋\)](#)
- [▶ 地方会案内](#)
- [▶ 国際交流](#)
- [▶ 関連学会集会](#)
- [▶ 利益相反](#)
- [▶ 専門医制度](#)
- [▶ 医学物理士制度](#)
- [▶ リンク集](#)
- [▶ 電子放射線診療用語集](#)

**会員専用ページへ**

 閲覧には会員番号と  
 パスワードが  
 必要です


日本語

### 3. その他

事:

1. 前回議事録(案)を一部訂正のうえ承認した。
2. 平成13年総会・評議員会議事録および評議員提案事項回答を承認した。
3. 第61回日本医学放射線学会総会について 山田会長よりプログラム予定表に基づいて説明がありました承された。
4. 第37回日本医学放射線学会秋季臨床大会について 竹田大会長よりプログラム予定表に基づいて説明がありました承された。  
また抄録集の発行を今回は10月発行に変更いただけないかとの提案がだされ、投稿論文の編集の進捗状況を確認する必要があるので山下編集担当理事が編集状況を確認し、支障がない場合は変更を認めることとした。
5. 定款の変更について  
隈 久崎総務理事より評議員会で提案申し上げたが現在のところ会員からの問い合わせ、意見等は寄せられていないとの報告があった。今後も継続審議として進めて行く事を確認した。
6. JMCPについて  
名称の変更については次回のJMCP理事会に提案の予定である旨の報告があった。  
またJMCPから出された総会時のJRS各委員会の会計については今年度秋季臨床大会までにどのように処理を行うかを検討してゆくこととした。  
また阿部庶務理事よりJMCP事務局長交代の件について説明があった。
7. 専門医更新有効期間変更(旧制度更新対象者)について  
平木担当理事より資料にしたがって従来の更新手続における問題点と変更した場合のメリットについて説明があり、検討後旧制度更新対象者についての専門医更新有効期間変更を承認した。
8. 日医放生物部会報告  
阿部庶務理事より資料に基づいて説明があり、了承された。
9. 日本医学物理学会(医療用線量標準事業の件)  
隈崎総務理事より日本医学物理学会から学会宛に医療用標準線量研究会の今後の体制についての検討結果の報告が届いた件について報告があった。  
線量標準事業については会計等で確認すべき点もあるので酒井会計担当理事と相談の上、日本医学物理学会と連絡を取り検討して行くこととした。
10. パンフレットの作成(広報委員会)  
山下広報担当理事より広報委員会で作成したポスター(案)について説明があった。ポスター及び小冊子について予算、配布先などを検討し作業を進めて行きたいとの提案がありこれを了承した。
11. 「施設画像評価」に関する広報の件  
石垣担当理事より「施設画像評価案」に関する件について乳房撮影委員会で再検討を行った結果、マンモグラムの画像評価を行うことの重要性が確認され、  
目的、対象、実施体制の確立、評価基準についての再検討を行った旨の報告があった。理事会で検討後、「施設画像評価案」を了承した。
12. デジタルマンモグラフィ評価基準作成の件  
石垣理事よりマンモグラフィもデジタル画像の方向が示されており、早急に評価基準を作成する必要があるので乳房撮影委員会のなかに検討委員会(日本放射線技術学会、日本放射線物理学会からも委員を派遣)を作りたいとの報告があった。  
理事会で検討後、了承した。
13. オムツの取り扱いについて  
遠藤理事より核医学診療に伴い発生する廃棄物の取り扱いマニュアルが配

布された件についてその後の報告があった。

近日中に医療用廃棄物連合会との話し合いも行われる予定であるとの報告があり、今後も日医放としても遠藤理事を担当として厚生労働省と連絡を取り進めて行くことを確認した。

#### 14. 会告の承認

6月号 第61回日本医学放射線学会総会案内(II)

第15回医学物理士認定試験について

医療用線量標準センターからのお知らせ

第26回日医放医療用標準線量研究会案内

新規学術集会認定申請単位決定等のお知らせ

#### 15. 用語集の取り扱いについて

山下理事より診療放射線用語集改定版の発行に関しての販売状況について報告があった。販売部数が1300部と膨大な時間を割いて作成されたものが会員に広く利用されていないので

本の販売価格を下げれば会員の購入率も上るのではないかと、そのための案として用語集に広告を掲載しても宜しいかどうかとの案がだされ、理事会で検討後広告を掲載することについて了承した。

#### 16. 事務局の充実について

山下理事より事務局の充実について今後も検討を進めるべきであるとの提案が出された。

#### 17. ウィルス感染とサーバー管理について

山下広報担当理事より4月に学会のサーバーにVirusが感染してしまった件についてこのところVirusの侵入が多いので何らかの対策が必要である。

サーバー管理を委託する方向で進めたいとの提案があり了承された。

#### 18. その他

受託研究管理規定の承認

受託研究管理規定(案)について隈崎総務理事より説明があった。

理事会で規定を確認しこれを承認した。この規約の施行は平成13年3月1日からとする。

### 報告事項

#### 1. 60回日本医学放射線学会総会について

増田前会長より3400名程の参加者があった旨の報告があった。

#### 2. 委員会報告

将来計画委員会(石垣担当理事)

日本医放会誌について現在メールで検討中であり、6月13日の委員会で将来委員会としての回答をまとめる予定であるとの報告があった。

教育委員会(高橋担当理事)

学会の教育講演についてこれまで行われてきた内容について必要な領域がカバーされ、偏りがないよう教育委員会として調査を行うことになった。

また卒後研修について画像診断に関する教育は必須なので適当な研修プログラムを検討して行くこととなったとの報告があった。

医療事故防止委員会(平松担当理事)

マニュアル案原本が出来上がったので弁護士と相談して妥当性について検討する予定である。

また、秋季臨床大会のシンポジウムには医師以外の人もシンポジストに加え行う予定である旨の報告があった。

倫理委員会(山田担当理事)

委員の中に外部委員として弁護士の方を入れたいとの意見がだされ、これを了承した。

健保・健保実行合同委員会(遠藤担当理事)

放射線科専門医会保険委員会と学会健保実行委員会とが共同で健保に関する実務を担当し、改定要望などはこれまで通り学会健保委員会を通じて、

内保連、外保連へと手続きを進めることについて、委員会です承されたとの報告があった。

放射線科専門医認定委員会(平松理事)

今年度からコンピュータによる試験(核医学)が実施されるが順調に準備が進められているとの報告があった。

### 3. その他

日英放射線医学協会の事務局担当が高橋(熊大)、関谷(社会保険大宮総合病院)から福田(慈恵医科大)、林(長崎大)に変更する旨の報告があった。

RSNAより学会宛にInternational Young Academic Seminarについての手紙がきているので国際交流担当理事から各大学の教授宛に参加を呼びかけることとした。

またRSNAから各国代表者による国際交流プログラム委員会への参加依頼の手紙が学会宛に届き学会からの代表として山田会長、国際交流担当・板井理事が参加予定。

---

[このページのトップへ戻る](#) ↑